

令和 6年 4月 /0 日

松江市議会議長 吉 金 隆 様

会 派 名 明 政 会

経理責任者名 細木 明美



令和5年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和5年度政務活動費収支報告書

会派名 明 政 会

1 収 入

政務活動費 1, 080, 000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費		
調 査 費		
旅 費	1, 080, 000 円	東京、仙台視察 492,720円 薩摩川内等視察 587,280円
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
広 聴 費		
合 計	1, 080, 000 円	1, 080, 000 円

3 残 額 0 円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

令和5年度 政務活動費使用簿（会派）

管理番号			
使途項目	調査旅費		
使途内容	東京、仙台視察		
調査年月日 (購入年月日)	令和5年8月22日(火) ～ 令和5年8月24日(木)		
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	調査旅費	492,720 円	492,720 円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
	・	円	円
合計額		492,720 円	492,720 円
備考	参加議員： 森脇幸好、立脇通也、柳原 治、細木明美、米田ときこ、三島 明		

(注意)

研究研修費、調査費、旅費、広報費（広報活動）、広聴費（意見聴取会）等に係る経費の場合、備考欄に参加議員名を記入すること

会派名 【 明政会 】

旅 費 計 算 書

会派名 明政会

用務先	東京都千代田区、宮城県仙台市										
用務内容	8/22 衆議院第二議員会館 ①現下の経済と財政の状況について ②再生可能エネルギーの今後の進め方について 8/23 仙台市行政視察 ①仙台市交流人口ビジネス活性化戦略について ②仙臺緑彩館について										
出張期間 (出発及び帰市)		令和5年8月22日(火) ～ 令和5年8月24日(木)					(2 泊 3 日)				
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		旅行雑費
		到着地	宿泊地	路 程	運 賃 等	特別料金	日数	定 額	日数	定 額	
R5.8.22	火	松江市	千代田区	km	航空機 26,330 鉄道 830 鉄道 180		1	1,100	1	10,900	
R5.8.23	水	千代田区	仙台市	鉄道 新幹線 210 鉄道 210	180 6,050 210 210	5,360	1	1,100	1	10,900	
R5.8.24	木	仙台市	仙台市	鉄道 航空機	660 17,010		1	1,100			
		松江市									
小 計					51,660	5,360	3	3,300	2	21,800	0
一人当たり合計				参 加 人 数				会 派 合 計			
82,120 円				6 人				492,720 円			

※異なる路程で参加した者があった場合は、別に旅費計算書を作成すること。

- 備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

備考

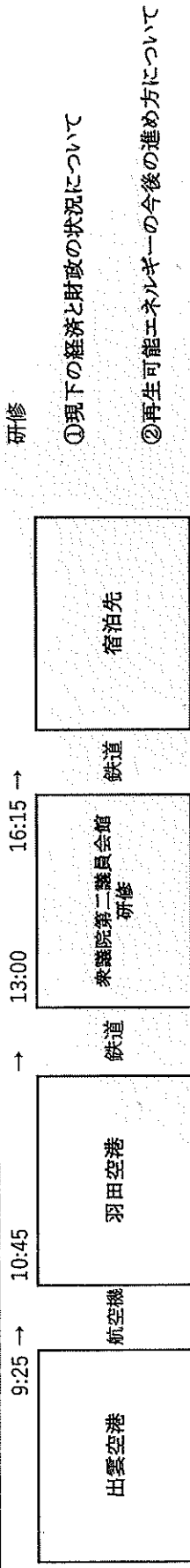
宿泊はいずれも朝食有・夕食無。宿泊はいずれも旅費上限額を超過したため、上限額10,900円を政務活動費で充当する。
1日目 宿泊費10,076円(朝食有・夕食無)＋夕食代1,500円＝11,576円
2日目 宿泊費13,113円(朝食有・夕食無)＋夕食代1,500円＝14,613円

※ 路程欄

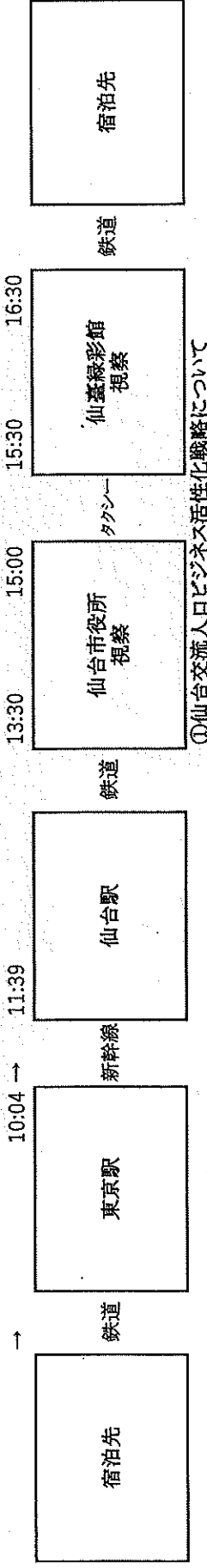
別紙行程表のとおり

令和5年8月22日-24日 明政会視察 行程表

●第1日目 (令和5年8月22日 (火))



●第2日目 (令和5年8月23日 (水))



●第3日目 (令和5年8月24日 (木))



出雲空港→衆議院第二議員会館 2023年08月22日(火)平均

2時間54分 (乗車1時間50分)



乗換：3回 822.4km

¥ 現金優先：41,460円

発 出雲空港		
80分	← 空路(東京-出雲)	40,630円
○ 羽田空港(東京)		
5分	歩 徒歩	
○ 羽田空港第1ターミナル(東京モノレール・JAL利用)		
22分	東京モノレール	500円
○ 浜松町		
4分	JR山手線内回り	150円
○ 有楽町		
4分	東京メトロ有楽町線(和光市-新木場)	180円
○ 永田町		
2分	歩 徒歩2分 出口：1	
着 衆議院第二議員会館		

衆議院第二議員会館→都市センターホテル 2023年08月22日(火)平均

22分 (乗車2分)



乗換: 0回

1.5km

現金優先: 180円 定期券 通勤: 1か月 6,630円 / 3か月 18,900円 / 6か月 35,810円

発 衆議院第二議員会館

2分 徒歩2分 出口: 1

○ 永田町

2分 東京メトロ有楽町線(和光市-新木場)

180円

○ 麹町

4分 徒歩4分 出口: 1

着 都市センターホテル

都市センターホテル→仙台市役所 2023年08月23日(水)平均

2時間46分 (乗車1時間43分)



乗換：3回 357.2km

現金優先：11,800円 (乗車券6,440円 特別料金5,360円)

発 都市センターホテル	
4分	徒歩4分 出口：1
○ 麴町	
6分	東京メトロ有楽町線(和光市-新木場) 180円
○ 有楽町	
2分	J R 山手線内回り 6,050円
○ 東京	
92分	J R 新幹線はやぶさ 指定席：5,360円
○ 仙台	
5分	徒歩
○ 仙台(地下鉄)	
3分	仙台市営南北線 210円
○ 勾当台公園	
2分	徒歩2分 出口：北1
着 仙台市役所	

青葉山公園 仙臺緑彩館→ホテルビスタ仙台 2023年08月23日(水)平均

23分 (乗車6分)



乗換: 0回

3.4km

現金優先: 210円 定期券 通勤: 1か月 8,220円 / 3か月 23,440円 / 6か月 44,410円

発 青葉山公園 仙臺緑彩館

4分 徒歩4分 出口: 東1

○ 国際センター(宮城県)

6分 仙台市営東西線

210円

○ 宮城野通

1分 徒歩1分 出口: 北2

着 ホテルビスタ仙台

ホテルビスタ仙台→出雲空港 2023年08月24日(木)平均

3時間23分 (乗車1時間55分)



乗換: 1回

691.8km

現金優先: 37,450円

発 ホテルビスタ仙台	
3分	徒歩3分 出口: 東口
○ 仙台	
13分	J R 東北本線(福島-仙台) 240円
	↓ 名取【乗換不要】
12分	仙台空港アクセス線 420円
○ 仙台空港(鉄道)	
5分	徒歩
✈ 仙台空港	
90分	空路(仙台-出雲) 36,790円
着 出雲空港	

領収書貼付用紙

使 途	8/22～8/23 旅費
【貼付欄】 別紙のとおり	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名

【 明政会 】

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

明政会 様

金額 157,980円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	
航空券/料金券発行日	2023年7月16日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

羽田税率: 10%

日本航空株式会社

ご利用旅程・運賃・料金明細

ミシマ アキラ 様

2023年8月22日 (火)

09:20 出発

10:45 東京 (羽田)

運賃: セイバー

クラス: 普通席
便名: JAL 278

26,330 円

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

モリワキ ユキヨシ 様

2023年8月22日 (火)

09:20 出発

10:45 東京 (羽田)

運賃: セイバー

クラス: 普通席
便名: JAL 278

26,330 円

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

タデワキ ミチヤ 様

2023年8月22日 (火)

09:20 出発

10:45 東京 (羽田)

運賃: セイバー

クラス: 普通席
便名: JAL 278

26,330 円

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

ヤナギハラ オサム 様

2023年8月22日 (火)

09:20 出発

10:45 東京 (羽田)

運賃: セイバー

クラス: 普通席
便名: JAL 278

26,330 円

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

ヨネダ トキコ 様

2023年8月22日 (火)

09:20 出発

10:45 東京 (羽田)

運賃: セイバー

クラス: 普通席
便名: JAL 278

26,330 円

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

ホソギ アケミ 様

2023年8月22日 (火)

09:20 出発

10:45 東京 (羽田)

運賃: セイバー

クラス: 普通席
便名: JAL 278

26,330 円

※ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 157,980円

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

様 明政会 様

金額 102,060円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	
航空券/料金券発行日	2023年7月18日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率: 10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

ご利用旅程・運賃・料金明細

ミシマアキラ 様

2023年8月24日 (木)

運賃: スペシャルセイバー

12:25 仙台

クラス: 普通席
便名: JAL 2993 | FDA運航

17,010 円

14:00 出雲

モリワキユキヨシ 様

2023年8月24日 (木)

運賃: スペシャルセイバー

12:25 仙台

クラス: 普通席
便名: JAL 2993 | FDA運航

17,010 円

14:00 出雲

タデワキミチヤ 様

2023年8月24日 (木)

運賃: スペシャルセイバー

12:25 仙台

クラス: 普通席
便名: JAL 2993 | FDA運航

17,010 円

14:00 出雲

ヤナギハラオサム 様

2023年8月24日 (木)

運賃: スペシャルセイバー

12:25 仙台

クラス: 普通席
便名: JAL 2993 | FDA運航

17,010 円

14:00 出雲

ヨネダトキコ 様

2023年8月24日 (木)

運賃: スペシャルセイバー

12:25 仙台

クラス: 普通席
便名: JAL 2993 | FDA運航

17,010 円

14:00 出雲

ホソギアケミ 様

2023年8月24日 (木)

運賃: スペシャルセイバー

12:25 仙台

クラス: 普通席
便名: JAL 2993 | FDA運航

17,010 円

14:00 出雲

※ご利用済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額 102,060円

領 収 書

明政会

様

Receipt

領収年月日 2023.-7.24

金 額 ￥68,460 (消費税等込み)

[クレジット扱い]

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(40277 6枚)

西日本旅客鉄道株式会社

松江駅

松江駅F1発行

50278-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

RIHGA ROYAL HOTELS

ご請求明細書

都市センターホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

TEL:03(3265)8211 FAX:03(3262)1705

お名前 80106 マツエツカ 様

お部屋番号 80106 ご人数 6

ご到着 2023/08/22 ご出発 2023/08/23

日付	ご明細	部屋番号	料金
08/22	御宿泊料	from1807	10,076
	御宿泊料	from1808	10,076
	御宿泊料	from1824	10,076
	御宿泊料	from1830	10,076
	御宿泊料	from1831	10,076
	御宿泊料	from1832	10,076

ご請求金額 60,456
(内、宿泊税等: 0)

上記金額には、税金・サービス料を含みます。

ご署名

082204103395 J 1 3 4 * RM AL

23/08/22 16:46 62363

領 収 書

2023/08/22
082204103395

お名前 明政会 8/22~1泊 ¥10,076×6
名様分 様

金額 ¥60,456-

但し ご宿泊代金他として(朝食付
夕食はし)

上記金額正に領収致しました。



Toshi Center Hotel Tokyo

RIHGA ROYAL HOTELS

ご請求明細書

都市センターホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

TEL:03(3265)8211 FAX:03(3262)1705

お名前 80106 マツシガ 様
お部屋番号 80106 ご人数 6
ご到着 2023/08/22 ご出発 2023/08/23

日付	ご明細	部屋番号	料金
08/22	御宿泊料	from1807	10,076
	御宿泊料	from1808	10,076
	御宿泊料	from1824	10,076
	御宿泊料	from1830	10,076
	御宿泊料	from1831	10,076
	御宿泊料	from1832	10,076

ご請求金額 60,456
(内、宿泊税等: 0)

上記金額には、税金・サービス料を含みます。

ご署名

082204103395 J 1 3 4 * RM AL

23/08/22 16:46 62363

領 収 書

2023/08/22
082204103395

お名前 明政会 8/22~1泊 ¥10,076×6
名様分 様

金額 ¥60,456-

但し ご宿泊代金他として(朝食付
夕食はし)

上記金額正に領収致しました。

RECEIVED

印刷税 100円 付につき 税務署に提出

税務署に提出してお取扱いいたしました

PAID BY CREDIT CARD

Toshi Center Hotel Tokyo

明細書 (STATEMENT)

Name お名前

松江市議会 明政会

様

No.466583-DB

ROOM NO. お部屋番号 402	PERSON. ご人数 6	ARRIVAL DATE. ご到着日 2023/08/23	DEPARTURE DATE. ご出発日 2023/08/24
-----------------------	------------------	----------------------------------	------------------------------------

DATE 日付	ROOM NO. お部屋番号	EXPLANATION ご明細	CHARGES ご料金	CREDIT お支払等
23/08/23	402	御宿泊代	14,100	
23/08/23	407	御宿泊代	14,100	
23/08/23	411	御宿泊代	14,100	
23/08/23	412	御宿泊代	14,100	
23/08/23	415	御宿泊代	14,100	
23/08/23	423	御宿泊代	14,100	
23/08/23	402	クーポン	-5,922	
TOTAL AMOUNT ご利用金額			78,678	0

ご精算金額には消費税が課税されています。領収書の捺印を以て領収証とさせていただきます。

ご署名

SIGNATURE

領収書 (RECEIPT)

松江市議会 明政会

様

日付: 2023/08/23

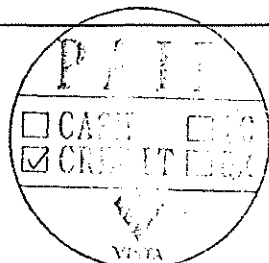
No.466583-DB

¥78,678 -

朝食付. 夕食なし

上記正に領収致しました。

収
入
印
紙



ホテルビスタ 仙台

〒983-0852

宮城県仙台市宮城野区榴岡1-7-3

TEL.022-385-6222 FAX.022-385-6664

<https://www.hotel-vista.jp/sendai/>

研究研修、調査 報告書

会派名 明 政 会

1. 期 間 令和 5 年 8 月 22 日 (火) ～ 令和 5 年 8 月 23 日 (水)
2. 会 場 等 8/22 衆議院第二議員会館 5 階 518 号室、8/23 宮城県仙台市役所、仙臺緑彩館
3. 調査項目等 8/22 (1) 現下の経済と財政の状況 (2) 再生可能エネルギーを巡る政策動向
8/23 (1) 仙台市議会議長へ FDA 継続運航の要望 (2) 仙台・青葉山エリア文化観
光交流ビジョン
4. 講師 (対応者) 8/22 (1) 財務省中国財務局 局長 錦織 功政
(2) 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課
課長補佐 潮 高史
8/23 (1) 赤間次彦議長、西沢啓文議員
(2) 文化観光局交流企画課係長奥山和也
同局誘客戦略推進課長 荒木田理、同局観光課コンテンツ創出係長 松本庄平
建設局百年の杜推進部公園管理課利活用推進係長 降旗賢太郎
5. 会派参加者名 森脇幸好、立脇通也、柳原治、細木明美、米田ときこ、三島明
6. 調査内容・所感等

8 月 22 日 (火)

(1) 現下の経済情勢と財政の状況について (錦織中国財務局長)

1. 内閣府年央試算の概要よりコロナ感染症やロシアによるウクライナへの侵略の影響により、
2020 年度で実質・名目 GDP 成長率が最も低下し、その後 2023 年度で、輸出の減速等による景気
下押しが見込まれ、サービス消費を始めとする個人消費の回復や企業の設備投資の増加が期待さ
れる。故に GDP 成長率は実質で 1.3%程度、名目で 4.4%程度と見込まれる。2024 年度は GDP 成長
率は実質 1.2%程度、名目で 2.5%程度と民間需要主導の緩やかな成長が見込まれる。消費者物価
指数が伸びているのも原油高、ドル高円安の影響が大きい。

物価抑制として、電気・ガス料金やガソリン・灯油の負担軽減措置により標準世帯で 45 千円の
負担軽減が行われ、消費者物価上昇率を 1.2%p 程度の抑制が見込まれるとのこと。個人消費は

持ち直し直し、サービス消費では、旅行・外食とも回復傾向にある。また訪日外国人観光客は 2022 年 10 月の水際対策の緩和以降回復傾向にあり、消費額はコロナ前の 95.1%の水準まで回復した。訪日観光客は、2023 年は韓国が増えた。企業収益は前年同期比・前期比ともに増収・増益で非製造業の伸びが大きい。

2. 財政の中長期的課題①少子高齢化により人口の減少に伴う社会保障費で介護サービス費を例に給付費は 2.8 倍、保険料は 1.9 倍、公費は 3.6 倍と公費が増加。我が国財政悪化の最大の要因。社会保障と税の一体改革で安定財源を確保すること。消費税収は社会保障費に充当が法定済。全世代型社会保障の構築が重要。②脱炭素への取り組みとして、2030 年の脱炭素関連投資の見込みが年間 17 兆円で 10 年間で 150 兆円を GX リーグ基本構想で見込んでいる。官民の投資を先導する為、政府資金で GX 経済移行債で充てる。松江市は第 3 次募集で認定、様々な分野で取組を進めている。③防衛力強化については、2023 年度から 2027 年度の 5 年間の整備水準を 1.6 倍にすることとした。税外収入等を防衛力の整備に充てるため、新たな資金制度を令和 5 年度に財源確保法により創設予定。

3. 財政健全化の論点については、一般会計歳出総額は 100 兆円を超え、その 1/3 が社会保障費関係が占める。歳入総額の 1/3 は公債金収入に頼らざるを得ない状況。日本は国民負担率（租税負担率＋社会保障負担率）が 47.9 で OECD 加盟 36 か国中 22 位と低い。公債依存の問題は将来世代へ負担を先送りするものであり好ましくないが、自然災害の頻発やコロナ感染症の拡大等により、様々な経済状況の悪化により、特例公債費の発行が近年は増え、受益と負担のアンバランスが強くなっている。松江市においても、経常収支比率が高止まりし財政の硬直化が進んでいるが、国においても同様ではないかという質問に対し、財政が硬直化することにより政策の自由度も減少することから、財政健全化の旗を下さず、財政健全化に取り組んでいく。2025 年度の PB 黒字化を目指すと同時に債務残高対 GDP 比の安定的な引き下げを目指すと言われた松江市でも職員数の削減や各種団体への補助金縮小・廃止、公共施設見直しなど様々な取組を行い公債費残高を縮小し、財政健全化に取り組だが、松江市内でも地域事情が様々である。全国ではよりその格差や問題の大きさが違うことと思う。世界情勢が刻々と変化する中で、状況を見据え、必要な対応を取りつつ検証も行っていくことの重要性を再認識した研修であった

(2) 再生可能エネルギーを巡る政策動向について(資源エネルギー庁 潮 高史課長補佐)

1. GX 実現に向けた再エネ政策の方向性として、2012 年 7 月の FIT 制度により、再エネの導入は大

幅に増加。「2030 年度のエネルギーミックスにおいて、再エネ比率を 36-38%にした。太陽光が大きく増えている。北海道と九州での発電が大きい。消費の都市とのネットワークが課題。長期脱炭素電源オークションとして、蓄電池、水素、アンモニア等の調整が必要。国産・次世代型太陽電池として、プロブスカイト（屋根や壁面を利用して薄い膜を貼る。）の活用と洋上風力などがあげられる。

2. 事業規律の強化・再エネ設備の適切な廃棄・リサイクルでは、地域と共生した事業規律の確保が重要。近年の資源エネルギー庁への相談の 9 割以上を太陽光発電によるトラブルが占る。主に適正な事業実施への懸念、地元理解への懸念、事業による安全確保への懸念である。令和 5 年 5 月に再エネ特措法により、事業実施段階に応じた制度的対応に努める。省令改正する。

3. 地域と共生した再エネの最大限の導入では、地域の事業の検証事業を開始している。また、大規模ではなく、自家消費モデル普及の促進を図るため、補助金等の導入や需要家主導による再エネ導入の促進、既存再エネの最大限の活用のための追加投資促進、促進区域の設定、洋上風力の案件形成促進に努めている。

4. 系統整備の強化は、送電線の容量不足や自然変動再エネの比率が上昇しないため、系統の安定性を確保できないことから系統の制約を解消し、再エネのポテンシャルの大きい地域を生かし系統利用ルールの見直しや系統の整備、蓄電池や水素の活用等を進めるが時間を要する。北海道から本州間の改定直流送電等について、具体的な整備計画の検討を開始。必要な投資額が約 6.0~7.0 兆円必要。再エネ賦課金、託送料金等有。

5. 再エネ分野のイノベーションの加速・人材育成では、太陽光の拡大には、立地制約の克服が鍵。ビル壁面等に設置の次世代型太陽電池開発や製品化、生産体制等 2030 年迄に市場形成目指す。洋上風力サプライチェーンの全体像として、約 3 万点にのぼる関連部品が必要であること。洋上風力の事業開発を担う人材、エンジニア、専門作業員の育成に向け、カリキュラム作成やトレーニング施設整備に係る支援について 2022 年度から実施。立地地域における人材育成が重要で、千葉県を中心に地元人材の育成を強力にサポートしている。産学連携で実施中。太陽光においても進める中で、法整備も後追いながら整備しつつあることが理解できた。次世代型太陽電池が普及されると山陰の気候でも活用が広まる可能性はあるが、費用面でどうなのかまた洋上風力は実験段階であり、日本海の荒波や台風、津波等への対策などこれからの部分も多くあり、今後に期待したいところであると感じた。脱炭素社会の実現には、誰もの意識と知恵で取り組んでいくべきものと感じた。

8月23日(水)

(1) FDA 仙台空港と出雲空港航路の継続運航について

仙台市議会赤間次彦議長、西沢啓文議員へ継続の協力要望

松江市と仙台市の歴史的な繋がりについて、松江松平家7代藩主松平治郷（不昧公）の正室に仙台伊達家6代藩主の伊達宗村の女子 せい(しず)姫が輿入れされた。伊達政宗の重臣片倉小十郎の墓と伝わる宝篋印塔が鹿島町片匂にある。本年から和菓子・抹茶フェアによる交流などある中、両市の交流起点となってきたFDAの仙台と出雲の航路が休航となる。継続できるよう両市での取り組みを依頼。赤間議長、西沢議員からFDAを含め検討が必要とのコメントがあり、また、両氏へ松江市に来ていただくようお願いした。また、地元新聞社河北新報社の取材を受け、翌日の8月24日の朝刊に掲載された。

松江市行政そして関係団体の積極的な要請行動が必要であると感じた。

(2) 仙台・青葉山エリア文化観光交流ビジョンについて(交流企画課奥山係長、誘客戦略課荒木田課長、観光課 松本係長)

1. 仙台交流人口ビジネス活性化戦略は2019. 3月に策定。交流人口目標値の600万人を超える624万人が宿泊していたが、2020年のコロナ感染症の拡大により観光関連産業が大きな影響を受け356.7万人に激減した。そこで2021年3月に感染症を踏まえた取り組みを追加する等の改定を行い、日本一の体験プログラムの創出し、来訪者が何をするか、何をしたいかのデジタルマーケティング等によるリサーチと効果的なプロモーションを行った。地域資源を生かすため、エリアビジョンも策定し、地域資源を生かしたプログラムや滞在時間を伸ばすプログラムなど質を重視したプログラムを創出した。R5年3月に1345本の体験プログラムを創出した。更に職員が地域の祭り等に参画したことで多業種参画が広がり、意見も聴取しやすい状況となった。コロナ禍の中で、コロナ後の視点で取り組みの質の重視として①旅行消費額をいかに大きくするかという視点。②滞在時間や宿泊日数を伸ばすことが、消費額アップにつながっていること。③旅行満足度を上げることで、リピーター率が上昇すること。④高付加価値サービスを提供することは、無料から有料になるがサービス内容を充実させていくことが出来、満足度の上昇につながるなどデータに基づき様々な工夫点が垣間見えた。成果目標も2024年に650万人の宿泊をはじめ、客室稼働率、コンベンション開催件数、旅行満足度などのモニタリング指標などを設けている。自治体ごとの計画にはその自治体に経済効果をもたらす具体的な計画を策定す

るが、仙台市は東北の関係人口拡大や東北周遊促進等の広い視野で策定している点は、自市への利益追求だけでない点に感銘を受けた。

コロナ禍の中でポストコロナを見据えたインバウンド受け入れ体制の整備にしても同様である。スピード感のある行政感覚に様々な企業が連携を図り進めていることもデジタル社会をうまく活用していると感じた。デジタル分析の一つとして観光協会の仙台旅びよりの閲覧件数と宿泊客の関連分析、GPSによる青葉城にきた人の前後の動きを分析し、マーケティングに活用するなど観光とデジタルのプロジェクトが動いている状況を聞き、わくわくする気分になった。その他、様々なデータ情報を基に奥山係長の頭脳と説明のうまさにも観光戦略担当人材としての役割を果たしていることに敬服した。インバウンド&MICE強化プロジェクトについては、2019年までは過去最高を更新していた。コロナにより半減したが、地域別の訪日観光客も中国、台湾が多かったものが、米国、タイが伸び、台湾、中国の順に変化した。仙台国際空港は7社航空会社が就航していたが、現在は5社である。少しずつ増えて、R5は20万人になる見込みとのこと。訪日観光客を増やす取り組みとして、現地旅行会社（特にタイ・台湾）及び航空会社と連携した旅行商品の販売強化、外国人観光客消費拡大キャンペーン、トップセールス実施（東北6県でトップセールス実施）は効果があった。WEB閲覧は5言語で情報発信し、42万人が閲覧するなど文化観光局を設置し、仙台市としての取組の大きさ、パイプの太さにも心強いものを感じた。この後、片倉小十郎住居跡にできた、観光情報発信等の拠点となった仙臺緑彩館を視察研修した。仙台城址を含む青葉山公園を背後に広瀬川に面して広がる青葉山公園は杜の都のシンボルとして市民や訪れる人々に親しめる場所である。緑化フェア開催で、建物も建設し、公園全体はR8年度に完成予定となっている。施設内案内板に片倉小十郎住居跡の記載はあるが、松江市鹿島町との関係は職員も不明であった。今後の交流の中で相互理解出来ればと感じた。施設は木造作り地域内交流やイベント会場としての役割など目の前に広がる広瀬川や仙台城址などロケーションは抜群で、夕方からのBBQやキッチンカー等によるイベントで賑わいを演出するようである。エリアごとの活性化に基づく計画が具体性をもって進められていることは素晴らしいことである。全体的に職員が説明時に自信をもって説明し、ペーパーに頼らない面も多々あり、業務への精通感を伺えた。仕事に自信を持ちやりがいを感じることは重要である。職員を生かす配置がされていると感じた。

松江市においても観光戦略プランが策定されているが、経済情勢等変化に応じた変更やプランの早期実現ができるよう積極的な取り組みが必要であると感じた。

令和5年度 政務活動費使用簿 (会派)

管理番号				
使途項目	調査旅費			
使途内容	薩摩川内市、指宿市、鹿児島市視察			
調査年月日 (購入年月日)	令和5年10月31日(火) ～ 令和5年11月2日(木)			
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)	
	調査旅費	672,060	円	587,280 円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
	.		円	円
合計額		672,060	円	587,280 円
備考	参加議員： 森脇幸好、立脇通也、柳原 治、細木明美、米田ときこ、三島 明			

(注意)
 研究研修費、調査費、旅費、広報費(広報活動)、広聴費(意見聴取会)等に係る経費の場合、備考欄に参加議員名を記入すること

会派名 【 明政会 】

旅 費 計 算 書

会派名 明政会

用務先	鹿児島県薩摩川内市、指宿市、鹿児島市										
用務内容	10/31 川内原子力発電所視察 11/1 薩摩川内市行政視察、山川発電所視察 11/2 鹿児島市行政視察										
出張期間 (出発及び帰市)		令和5年10月31日(火) ～ 令和5年11月2日(木)						(2 泊 3 日)			
旅 費 請 求 明 細											
年月日	曜日	出発地	用務地	鉄道(航空・船・車)賃			日当・日額旅費		宿泊料・食卓料		旅行雑費
		到着地	宿泊地	路 程	運 賃 等	特別料金	日数	定 額	日数	定 額	
R5.10.31	火	松江市	薩摩川内市	km 航空機	24,770		1	1,100	1	8,760	バス借上料 一人当たり 27,500
R5.11.1	水	薩摩川内市	薩摩川内市				1	1,100	1	10,900	駐車場 一人当たり 2,250
R5.11.2	木	指宿市	指宿市	新幹線	5,610	5,230	1	1,100			
		指宿市	鹿児島市	鉄道	260						
		松江市		航空機	23,430						
小 計					54,070	5,230	3	3,300	2	19,660	29,750
一人当たり合計				参 加 人 数				会 派 合 計			
112,010 円				6 人				672,060 円			

※異なる路程で参加した者があった場合は、別に旅費計算書を作成すること。

- 備考 1. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金。
2. 用務は主たる用務を具体的に、又用務地は順路により、それぞれ記載する。
3. 変更は朱書すること。

備考

宿泊 1日目:朝食有・夕食無。2日目:朝食・夕食有。2日目の宿泊は旅費上限額を超過したため、上限額10,900円を政務活動費で充当
2日目 宿泊費18,700円(朝食有・夕食有)

※ 路程欄

別紙行程表のとおり

R5.10.31-11.2 明政会 視察行程

10/31	8:30 →	出雲空港	航空機	9:20	伊丹空港	航空機	10:45 →	11:55	鹿児島空港	貸切バス	12:15 →	12:20	昼食 (鹿児島空港周辺)	貸切バス	14:30	(視察) 川内原子力発電所	貸切バス	16:30 →	17:00	宿泊先 薩摩川市内	貸切バス
11/1	8:50 →	宿泊先 薩摩川市内	貸切バス	9:00	(視察) 薩摩川内市役所	貸切バス	9:50 →	12:10	昼食 (南九州市内)	貸切バス	13:00 →	14:00	(視察) 山川発電所	貸切バス	15:30	宿泊先 指宿市内	貸切バス				
11/2	8:30 →	宿泊先 指宿市内	貸切バス	10:00	(視察) かごしま環境未来館	貸切バス	11:00 →	→	14:17	鹿児島中央駅	新幹線	15:43	16:04	博多駅	鉄道	16:10	福岡空港	航空機	17:20	出雲空港	

出雲空港→鹿児島空港 2023年10月31日(火)08:00出発

08:30発→11:55着 3時間25分(乗車2時間0分)



乗換: 1回

1017km

現金優先: 64,810円

08:30	発	出雲空港	
		✈ JAL2342便	27,070円
(09:20着) (10:45発)		伊丹空港(大阪)	
		✈ JAL2407便	37,740円
11:55	着	鹿児島空港	

鹿児島中央→出雲空港 2023年11月02日(木)14:00出発

14:17発→18:30着 4時間13分(乗車2時間42分)



乗換: 2回

707.2km

⑤ 現金優先: 46,740円 (乗車券41,510円 特別料金5,230円)

14:17	発	鹿児島中央		
5駅		J R新幹線さくら560号・新大阪行 [発] 情報無し → [着] 12番線	指定席: 5,230円	5,610円
15:43着 16:04発		博多		
2駅		福岡市地下鉄空港線・福岡空港行 [発] 1番線 → [着] 1・2番線		260円
16:10着 16:13発		福岡空港(鉄道)		
		徒歩		
16:19着 (17:20発)		福岡空港		
		J A L 3555便		35,640円
18:30	着	出雲空港		

領収書貼付用紙

使 途	10/31～11/2 旅費
【貼付欄】 別紙のとおり	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名 【 明政会 】

冊番 № 0642-38

領 収 書

明政会

令和
平成 5 年 11 月 29 日
様

収 入

印 紙

金 額	百万	千	円
¥	7	9	2306

残高

但し 視察代金として

入金内訳

現金・小切手 クレジット

手形 年 月 日 期日

上記金額領収致しました

税率	税抜・税込 ¥
10%	720,278
	消費税額 ¥ 72,028
税率	税抜・税込 ¥
8%	消費税額 ¥



日帰りカモ

一畑

サービス

扱者印

登録番号 ;

お手数乍ら御支払の上は支払証印欄へ御調印願います。
社印取扱者印なきもの及び金額訂正したものは無効です。

28.3 (3×50) 720

発行年月日
2023年11月16日

請 求 書

明政会 御中

〒690-0852 島根県松江市千鳥
PHONE:(0852)26-8181 FAX:(0852)26-5
株式会社一畑トラベルサービス 本社営業部
担当: 〇〇〇〇

合計金額
792,306 円
件 名
2023年10月31日～11月2日 鹿児島視察 8名様

振込先	取引銀行: 〇〇〇〇〇〇 口座番号: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 口座名義: (株) 一畑トラベルサービス 登録番号: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
-----	--

明 細 書

項 目	内 容	数 量	単 価	金 額
貸切バス	小型バス3日間 (川内観光交通)	6	24,063	144,378
	1台 192,500円			
有料道路・駐車場	1台 18,000円	6	2,250	13,500
航空券	団体券	6	24,770	148,620
	往路: 出雲～伊丹～鹿児島			
	復路: 福岡～出雲			
J R	鹿児島中央～博多 (指定席)	6	10,840	65,040
宿泊	川内ホテル	6	7,260	43,560
	1泊朝食、シングル利用			
	指宿フェニックスホテル	6	18,700	112,200
	1泊2食、和室1名利用			
	夕食個室料 (1室 11,000円)			
食事	川内ホテル	6	3,850	23,100
	高城庵	6	2,500	15,000
飲料	川内ホテル (計 8,890円)	6	1,112	6,672
	指宿フェニックスホテル (計 13,800円)	6	1,725	10,350
	高城庵 (計 1,300円)	6	163	978
観光	知覧特攻平和会館	6	500	3,000
	仙巖園	6	1,000	6,000
乗務員経費	食事・宿泊費として (1名 27,500円)	6	3,438	20,628
取扱手数料	総額の4% (40,600円)	6	5,075	30,450
<税率10%> 税込792,306円 消費税額 72,028円				
<税率 8%> 税込 円 消費税額 円				
< 対象外 >				
<備考> 弊社をご利用いただき誠に有難うございました。			小計	792,306
振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。			お預かり金額	
振込期日: 2023年12月29日			合計	792,306

研究研修、調査 報告書

会派名 明 政 会

1. 期 間 令和 5 年 10 月 31 日 (火) ～ 令和 5 年 11 月 2 日 (木)
2. 会 場 等 10/31 川内原子力発電所
11/ 1 (1)薩摩川内市役所、(2)知覧特攻平和会館、(3)山川発電所
11/ 2 (1)かごしま環境未来館、(2)鹿児島中央駅前再開発地区
3. 調査項目等 10/31 稼働中の川内原発の現況と安全対策状況の視察
11/ 1 (1)次世代エネルギーの取組について (2)日本の大切な歴史に触れ知見を深める (3)地熱発電のしくみについて
11/ 2 (1)施設整備に至った経緯や目的、活用状況について
(2) (旧商業施設の閉店による)空きビルを活かした再開発の視察
4. 講師 (対応者) 10/31 九州電力(株) 川内原子力総合事務所長 川江隆文、川内原子力発電所所長 大久保康志、環境広報担当次長 前川裕章
11/ 1 (1)商工観光部商工政策課産業立地グループ長 上柊秀之、経済シティセールス部産業戦略課 白桃佑典 (2)九州電力(株)山川発電所所長 白垣 修、九電みらいエナジー(株)山川バイナリー発電所所長 山本 聡
11/ 2 (1)かごしま環境未来館事業課長 塩川哲郎、事務局長 濱村 浩
5. 会派参加者名 森脇幸好、立脇通也、柳原治、細木明美、米田ときこ、三島明
6. 調査内容・所感等

10 月 31 日 (火)

川内原子力発電所：稼働中の川内原発の現況と安全対策状況の視察

1. 展示館にて

先ずは、展示館会議室にて、ご準備いただいた資料に基づき発電所の概要、安全対策の実施状況、運転期間延長認可に係る申請についての説明を受けた。

川内原発は1号機、2号機があり、いずれも現在稼働している。2基とも出力は89万kWで、

加圧水型軽水炉(PWR)。説明を聞いて驚いたのは、1号機、2号機ともに福島事故以来、停止していた期間はたった4年であること。島根原発2号機は、2012年1月に定期点検に入り停止してから既に11年が経過している。10月に中電から公表された再稼働時期の来年8月に動いたとすると、なんと12年半以上も停止していたことになる。元々の立地環境に加え、想定される津波の高さや基準地震動によって必要な安全対策はもちろん違うわけだが、川内原発がPWRであることも大きく影響していると感じた。島根原発は福島と同じ型の沸騰水型(BWR)である。現在、全国で稼働している11基の原発はすべてPWRであり、BWRは未だ1基も動いていない。川内原発の想定される津波の高さは6m。発電所の主要設備がある敷地の高さは海拔13mであり、十分余裕があることから、防波壁(海拔約15m)や防波堤(海拔約8m)も海水ポンプエリアという一部への設置となったことが安全対策工事に要する期間を短くし、全国で最も早く再稼働できたことにつながったのだろう。また、この10年間の設備利用率が74%という優秀な原子炉であること、稼働してから1号機が39年、2号機が37年経過していることから、それぞれ20年の運転延長を規制委員会に申請していることも説明された。この視察翌日の11月1日に認可され「40年超」運転が可能になった。

また、発電所周辺の地域住民の交通安全の確保と発電所の運用性向上等を図ることを目的に、迂回道路を九州電力が建設し県道と交換するという計画で、現在建設中の県道が年内に工事完了するという説明を聞き、九州電力の地元貢献度の高さから、日頃からの地元との良好な関係性が伺えた。来年再稼働する島根原発が、安心安全のもと安定的に稼働し続けるためにも、松江市と中国電力が、こうした良好な関係性を持つことは大変重要だと感じた。

説明後、展示館を案内された。加圧水型PWRのしくみや、原子炉建屋の構造等がとてもシンプルにわかりやすく展示されていた。

2. 安全対策等の視察

バスに乗って構内を視察した。冷却手段や電源供給手段などの可搬型設備が複数台、分散して配置されていたが、これは「多様化」を重視して対策を取っているとの説明があった。また、耐震構造の緊急時対策棟の内部も視察した。川内原発には、震災前から代替緊急時対策所があったが、震災後に新たに耐震構造の緊急時対策所を設置し、連絡通路でつなぎ、要員の収容スペースの拡大や休憩室の整備等の支援機能を充実させた対応がなされていた。

11月1日(水)

(1)川内市役所：薩摩川内市の次世代エネルギーの取組について

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、人口約9万2千人、面積約683km²。平成16年10月に1市4町4村が合併。特徴は甑島という全国的にも稀な外海離島を含む合併であったこと。

次世代エネルギーの取組については、①東日本大震災や福島原発事故を契機に、エネルギーが国民的関心事項となっている。②原子力発電所や火力発電所が立地している薩摩川内市は、九州地域における基幹エネルギーの供給基地として重要な役割を担ってきた。③将来の少子高齢化の進展や、ゴールド集落等の課題が顕在化している。という三つの背景から、「市民の喜ぶエネルギー面での処方箋」を提示することを目的とし、且つ、次世代エネルギーの利活用等による「エネルギーのまち」づくりを加速させるべく、平成23年10月から「次世代エネルギービジョン」の作成に向けて動き出したとの説明があった。

そこで、先ず取り組まれた組織改編に、市長のやる気・本気度の高さを感じた。それは、①それまでに無かった「新エネルギー対策課」を企画制作部に新設。②市長からの依頼、様々な方々の協力を得て、経済産業省から対策監(部長職)で出向者を迎えるなど人的体制の整備を行った。③実効性があり価値のある「次世代エネルギービジョン・行動計画」の策定と、いくつかのプロジェクト推進のための予算を優先的に付けるとともに、国補助も積極的に受けられるようにした。ということで、実際の取り組み内容を聞く前にこの時点で「これは成功するだろう」と感じた。

さらに、実行力がある計画を作るために、計画と一緒に取り組んでいこうとする事業者等の存在が不可欠で、多くの中小企業は事業性が不明なことへの投資が難しいことから、市内の大手企業を回り協力を呼びかけ、プロジェクト推進の体制構築のために努力をして来られた。

そうして進められた取組には、総合運動公園太陽光発電所や薩摩川内市スマートハウス、小鷹水力発電所、「甑島蓄電センター」「甑島・浦内太陽光発電所」、川内駅次世代エネルギー設備、「SSプラザせんだい次世代エネルギー設備」など、数多くの施設があり運用されている。

また、導入状況を見ると太陽光発電がかなり普及しているので、設置業者と地元住民との間にトラブルは生じていないか、市として条例等設置しているのか等の事前の質問については、大きなトラブルは発生していない。条例等の設置は行っていないとのことだった。また、総合運動公園防災機能強化事業についても詳しい説明を受けた。松江市も様々なエネルギー関連の政策に取り組んでいるが、薩摩川内市が重視した、地域特性を十分に活かした薩摩川内らしさという視点

とこれまでにない技術開発や技術の導入、新しい産業の育成という視点は大いに参考になるものと感じた。

(2) 知覧特攻平和会館：日本の大切な歴史に触れ知見を深める

第二次世界大戦末期の沖縄戦で、人類史上類のない爆装した飛行機もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊員たち。いわゆる特攻隊と言われる若者たちである。知覧が特攻隊の出撃基地であったことから、沖縄戦の特攻作戦で戦死された隊員1,036名の当時の真の姿・遺品・記録を後世に残し、この史実を多くの人に知ってもらい、特攻を通して戦争のむなしさ、平和の大切さ・ありがたさ、命の尊さを訴え、後世に正しく語り継ぎ恒久の平和を祈念することが基地のあった住民の責務であろうと、特攻基地跡の一角にこの知覧特攻平和会館が建設されたとのことである。

「父上様、母上様」と家族に当てた数多くの手紙に釘付けになった。どれも20歳前後の若者とは思えないほどの達筆で書かれていた。いよいよ飛び立つという前に、お国のためにと誇りを持って迷いなき気持ちが表れている文章に胸が詰まった。散っていった若者たちの堂々とした笑顔の写真からもそうした心情が感じ取れたが、本当のところはどんな気持ちだったのだろうか。

展示室のあちこちに設置されたVTRで当時の様子がよく分かったが、これを見るのも辛くなった。

私たちが訪れたこの日も、多くの小学生が見学に来ていた。恐らくこの子たちにも特攻隊員の思いが伝わり、何か感じ取ってくれただろうと期待を持って生徒たちの姿を見送った。こうした大切な平和教育がこれからもずっと続いて欲しいと願っている。

そして、世界のあちこちで戦争をしている現世を、散っていった彼らは嘆いているに違いない。

(3) 山川発電所：地熱発電のしくみについて

ここには、九州電力の地熱発電所である山川発電所と、それに併設して九州電力のグループ会社である九電みらいエナジーの山川バイナリー発電所があり、それぞれ発電所長に発電のしくみ等展示室や発電施設も案内いただきながら詳しく説明いただいた。

山川発電所の地熱発電は、地下のマグマの熱で高い温度になっている蒸気と熱水が混じっている地熱流体を、地下深部から蒸気井（じょうきせい）で取り出して、分離した蒸気をタービンに送り発電機を回して電気を作り、残った熱水は還元井（かんげんせい）により再び地下へ戻すと

いうシステムです。蒸気タービンで使用された蒸気は、復水器で冷却され温水にして冷却塔に送られ、そこでさらに空気で冷却され、この冷却水は復水器に送られて蒸気を冷却するために使用されるという無駄のない循環システムになっている。今回、ここまで大きな地熱発電施設を見るのは初めてであったが、九州地方には現在も活発に活動している火山がいくつもあることから、その下には約1,000度もの高温のマグマ溜まりができており、地熱発電のための環境が整っていると感じた。また、夜間・休日は無人で、必要に応じ対応する随時監視を行っているとの説明も受けた。

バイナリー発電は、地熱流体の温度が低く十分な蒸気が得られず、効率的にタービンを回すことができない場合、水より沸点が低い媒体（n-ペンタン）と熱交換し、その蒸気でタービンを回す発電方法である。

現在、松江市においても、玉湯町で地熱発電に取り組んでいるが、なかなか思うように進んでいないようである。今回視察した山川発電所や山川バイナリー発電所の発電システムは、スケールも大きく、電力会社が行っている事業なので経営的にも確実性があり、これがそのまま玉湯町でやろうとしている地熱発電の参考になるものではないかもしれないが、「脱炭素選考地域」にも選定された松江市としてもきちんとした取組として何らかの成果を上げて欲しいものである。

11月2日(木)

(1) かごしま環境未来館：施設整備に至った経緯や目的、活用状況について

この施設は、市民及び事業者が環境について関心や理解を深め、日常生活や事業活動において自発的に環境保全活動を実践するとともに、その活動の輪を広げていくことを促進することを目的に設置されたものである。場所は、野球で有名な鹿児島実業高校の跡地を利用されていた。建物の屋上は芝生による緑化を行い、太陽光や風力発電の活用、雨水を貯水タンクに貯めて植物への散水や掃除に利用し、地下水は冷暖房に利用した後トイレや植物散水に使い、残った水は地中に戻すなど様々な面で環境に配慮した建築及び管理運営がなされていた。

そして、感心したのは、この施設が整備された経緯である。平成10年度に、市民・事業者・行政による協働の環境ワークショップが5回開催され、その後平成12年度に鹿児島市環境基本計画の具体的施策の中で、「人を育みパートナーシップで築くまち」環境教育・学習の拠点施設の整備を発表されたようだが、市民や事業者が熱心に関わって整備に至ったことは素晴らしいと感じた。平成20年5月に竣工。事業費約43億6千万円（用地費約22億2千万円、工事費等

約 21 億 4 千万円) 財源は国庫補助 (まちづくり交付金) 39.5%、起債 (合併特例債) 56%、一般財源 4.5%。このため 10 年間は展示物を変えられないという規制があり、平成 29 年度からリニューアルの検討を始め、基本設計、実施設計、改修工事と進め、令和元年度にリニューアルオープンされた。運営は、最初 5 年間は直営だったようだが、その後指定管理者制度を導入され、平成 27 年 4 月より現在の「公益財団法人かごしま環境未来財団」が管理運営を委託されている。(指定管理料 令和 5 年度予算 184,651 千円)

独自で環境学習に関する講座を開設したり、環境保全活動などに取り組んでいる市民団体や NPO や事業者と協働で「地域まるごと共育講座」という環境講座の開設やイベント開催、年に 4 回「未来館だより」を発行したりと、様々な事業を活発に取り組まれていた。

説明のあと、館内を案内していただいた。パンフレットの表紙に「このままだと地球はどうなってしまうのだろう わたしたちに何ができるのだろうか」という言葉が記載されているが、そのコンセプトが凄く感じられた館内の展示で、大人の私たちもハッとさせられ、また子どもたちにもよくわかるように興味を持たせるような素晴らしい内容だった。特に昔の教室が再現された部屋で見た「デジタル地球儀」の最先端技術には驚いた。

時間が足りないくらい、もっとゆっくり時間をかけて視察したいと感じた素晴らしい施設であった。松江市も、環境エネルギー部を設置し様々な取り組みを行っているが、こうした拠点となる施設を整備することは重要なことだと思い、日頃から特に子どもたちが学べる環境づくりに取り組んで欲しいと感じた。

(2) (旧商業施設の閉店による) 空きビルを活かした再開発の視察

鹿児島市における再開発事業は、鹿児島中央駅周辺、天文館周辺とその他の地域で行われており、今回は中央駅周辺の再開発事業を視察した。駅の周辺であることから、商業施設が多かったが、商業施設と公共施設による複合ビルや駐車場、また上層階には共同住宅を整備し、地区全体の活性化を図るための整備がなされていた。松江市も、松江駅前や大手前の再開発事業がなかなか先に進まない状況である。その地域のもつ役割、課題を明確にして進めていかれたいと願う。